

令和 5 年度

大阪府後期高齢者医療広域連合
一般会計・後期高齢者医療特別会計
決算審査意見書

大阪府後期高齢者医療広域連合監査委員

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	審査の概要	2
第6	実質収支に関する調書	8
第7	財産に関する調書	8
第8	意見	10
	一般・特別会計決算審査資料	11

(注) 各図表中に用いる金額は原則として表示単位未満を四捨五入している。
 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入している。
 したがって、合計と内訳の計が一致しない場合等がある。

大 広 監 第 27 号
令和 6 年 10 月 17 日

大阪府後期高齢者医療広域連合長
野田 義和 様

大阪府後期高齢者医療広域連合
監査委員 川西 修
監査委員 泉井 智弘

令和 5 年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・
後期高齢者医療特別会計決算審査意見について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 5 年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計決算書及び証書類その他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

第1 審査の対象

令和5年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和6年8月1日から同年10月4日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、会計管理者から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等に基づき、決算計数の確認を行うとともに、予算が適正に執行されているかについて、例月現金出納検査の結果等を参考に、必要に応じて担当職員の説明を聴取するなどして審査を実施した。

第4 審査の結果

令和5年度一般会計・後期高齢者医療特別会計の決算について審査した結果、決算計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合して正確であり、予算は適正に執行されていると認めた。

第5 審査の概要

1 決算の概要

(単位：百万円、%)

	令和5年度	令和4年度	増減	(比率)
歳入	1,360,093	1,305,372	54,721	4.2
一般会計	230	194	36	18.6
特別会計	1,359,863	1,305,178	54,685	4.2
歳出	1,332,400	1,291,022	41,378	3.2
一般会計	195	178	17	9.6
特別会計	1,332,205	1,290,844	41,361	3.2
形式収支	27,693	14,350	13,343	93.0
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	27,693	14,350	13,343	93.0

歳入決算額 1兆3,600億9,300万円

歳出決算額 1兆3,324億円

決算額は前年比で、歳入額547億2,100万円(4.2%)の増、歳出額413億7,800万円(3.2%)の増であった。

一般会計と後期高齢者医療特別会計を合わせた歳入歳出差引額(形式収支)及び実質収支は276億9,300万円の黒字となっている。

この中には前年度の繰越額143億5,000万円が含まれており、これを差し引いた単年度収支は133億4,300万円の黒字となっている。

2 一般会計

(単位：百万円、%)

	令和5年度	令和4年度	増減	(比率)
予算現額	223	193	30	15.5
歳入	230	194	36	18.6
収入率	103.1	100.5	2.6ポイント	—
歳出	195	178	17	9.6
支出率	87.4	92.2	△4.8ポイント	—
形式収支	35	16	19	118.8
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	35	16	19	118.8

- 一般会計の令和5年度予算現額は、過大交付を受けた国庫補助金の国への償還金の増により、歳入歳出当初予算へ4万円を増額した合計2億2,300万円となっている。
- 一般会計の決算額は、歳入2億3,000万円、歳出1億9,500万円で、予算現額に対する比率は、歳入103.1%、歳出87.4%となっている。
- 前年度比で、歳入3,600万円(18.6%)の増、歳出1,700万円(9.6%)の増となっている。
- 形式収支及び実質収支は3,500万円の黒字、単年度収支は1,900万円の黒字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和5年度	令和4年度	増減	(比率)
調定額	230	194	36	18.6
収入済額	230	194	36	18.6
収入率	100.0	100.0	0ポイント	—
不納欠損額	0	0	0	—
収入未済額	0	0	0	—

- 収入済額は2億3,000万円で、収入率は100.0%となっている。
- 前年度比で、収入済額は3,600万円(18.6%)の増となっている。

○分担金及び負担金(市町村負担金)は3,900万円の増

○寄附金は500万円の増

○繰越金等は 800 万円の減

- ・繰越金は、歳出（総務費）の財源に充て、歳入（市町村負担金）を減額している。

（２）歳出

（単位：百万円、％）

	令和 5 年度	令和 4 年度	増減	（比率）
予 算 現 額	223	193	30	15.5
支 出 済 額	195	178	17	9.6
執 行 率	87.4	92.2	△4.8ポイント	—
不 用 額	28	15	13	86.7

- ・支出済額は 1 億 9,500 万円で、執行率は 87.4%となっている。
- ・前年度比で、支出済額は 1,700 万円（9.6%）の増となっている。

○総務費は 1,700 万円の増

（予備費）

- ・予備費からの充用はなかった。

（不用額）

- ・不用額は 2,800 万円で、前年度比で 1,300 万円（86.7%）の増となっている。
- ・内訳は、総務費が 2,300 万円、予備費が 500 万円となっている。

3 後期高齢者医療特別会計

(単位：百万円、%)

	令和5年度	令和4年度	増減	(比率)
予算現額	1,356,723	1,304,711	52,012	4.0
歳入	1,359,863	1,305,178	54,685	4.2
収入率	100.2	100.1	0.1ポイント	—
歳出	1,332,205	1,290,844	41,361	3.2
支出率	98.2	98.9	△0.7ポイント	—
形式収支	27,658	14,334	13,324	93.0
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	27,658	14,334	13,324	93.0

- ・後期高齢者医療特別会計の令和5年度予算現額は、過大交付を受けた国庫負担金等の国等への償還金や保険給付費の増等により、歳入歳出当初予算へ338億8,400万円を増額した合計1兆3,567億2,300万円となっている。
- ・後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入1兆3,598億6,300万円、歳出1兆3,322億500万円で、予算現額に対する比率は、歳入100.2%、歳出98.2%となっている。
- ・前年度比で、歳入546億8,500万円(4.2%)の増、歳出413億6,100万円(3.2%)の増となっている。
- ・形式収支及び実質収支は276億5,800万円の黒字、単年度収支は133億2,400万円の黒字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和5年度	令和4年度	増減	(比率)
調定額	1,360,329	1,305,674	54,655	4.2
収入済額	1,359,863	1,305,178	54,685	4.2
収入率	99.9	99.9	0.0ポイント	—
不納欠損額	40	4	36	—
収入未済額	426	492	△66	△13.4

- ・調定額は1兆3,603億2,900万円、収入済額は1兆3,598億6,300万円で、収入率は99.9%となっている。
- ・前年度比で、調定額は546億5,500万円(4.2%)の増、収入済額は546億8,500万円(4.2%)の増となっている。

- 市町村支出金は 134 億 7,500 万円の増
 - ・事務費負担金が 9 億 7,300 万円の増、保険料等負担金が 57 億 7,800 万円の増、療養給付費負担金が 67 億 2,400 万円の増となっている。
- 国庫支出金は 282 億 100 万円の増
 - ・療養給付費負担金が 202 億 2,900 万円の増、高額医療費負担金が 16 億 4,900 万円の増、調整交付金が 61 億 9,300 万円の増、その他補助金が 1 億 3,000 万円の増となっている。
- 府支出金は 117 億 2,400 万円の増
 - ・療養給付費負担金が 100 億 7,500 万円の増、高額医療費負担金が 16 億 4,900 万円の増となっている。
- 支払基金交付金は 316 億 200 万円の増
- 特別高額医療費共同事業交付金は 1 億 4,100 万円の増
- 繰越金は 304 億 1,200 万円の減
 - ・繰越金は、過大に交付された負担金等の償還に充てた後、残額は医療給付費準備基金に積み立てを行い、保険給付費の財源としている。
- 諸収入は 4,600 万円の減
 - ・預金利子が 100 万円の増、第三者納付金が 8,800 万円の増、返納金等が 1 億 3,500 万円の減となっている。

(不納欠損)

- ・不当利得のうち、資格喪失後受診、負担割合差額にかかる返還金について、時効を迎えた債権の不納欠損処理を行っている。
- ・また、医療機関等への診療報酬にかかる返還金についても、破産手続が終了した債権の不納欠損処理を行っている。
- ・不納欠損額は 4,000 万円で、内訳は概ね返納金となっている。

(収入未済額)

- ・収入未済額は 4 億 2,600 万円で、前年度比で 6,600 万円 (13.4%) の減となっている。
- ・内訳は、返納金が 4 億 2,600 万円となっている。

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和5年度	令和4年度	増減	(比率)
予算現額	1,356,723	1,304,711	52,012	4.0
支出済額	1,332,205	1,290,844	41,361	3.2
執行率	98.2	98.9	△0.7ポイント	—
不用額	24,518	13,867	10,651	76.8

- ・支出済額は1兆3,322億500万円で、執行率は98.2%となっている。
- ・前年度比で、支出済額は413億6,100万円(3.2%)の増となっている。

○総務費は2億900万円の増

- ・一般管理費が2億3,100万円の減、電子計算費4億4,000万円の増となっている。

○保険給付費は713億5,400万円の増

- ・療養給付費等が541億400万円の増、高額療養費等が172億5,500万円の増、葬祭費等が500万円の減となっている。

○特別高額医療費共同事業拠出金は2億1,000万円の増

○保健事業費は5億5,500万円の増

- ・健康診査費等が3億1,100万円の増、保健・介護予防の一体的実施事業費が2億円の増、その他健康保持増進費が4,400万円の増。

○基金積立金は61億9,200万円の減

○諸支出金は247億7,500万円の減

(不用額)

- ・不用額は245億1,800万円で、前年度比で106億5,100万円(76.8%)の減となっている。
- ・内訳は、総務費が12億3,800万円、保険給付費が220億6,500万円、特別高額医療費共同事業拠出金が1億4,800万円、保健事業費が10億5,000万円、基金積立金が200万円、予備費が1,500万円となっている。

第6 実質収支に関する調書

決算書及び関係帳簿と照合したところ、計数は正確であると認められた。

第7 財産に関する調書

① 物 品

備品台帳等と照合したところ、計数が正確であることが認められた。

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高		決算年度末 現在高
		(増) 台	(減) 台	
液晶テレビ	1 台	0 台	0 台	1 台
パーソナルコンピュータ	13	0	0	13
電話交換機	1	0	0	1
金庫	1	0	0	1
財務・給与システムソフトウェア	5	0	0	5
財務・給与システムサーバー式	1	0	0	1
電算処理システム用APサーバー式	1	0	0	1
サーバラック	34	0	0	34
ビデオカメラ	2	0	0	2
プロジェクター	1	0	0	1
インテリジェントスイッチ	1	0	0	1
サーバ室エアコン	2	3	1	4
スライド収納式書庫	1	0	0	1

(取得価格1品10万円以上)

②基金

医療給付費準備基金については、財政の健全な運営を図り、医療給付等に要する費用の財源に充てることを目的に設置している。

決算年度中の増減は29億9,703万3千円の減で、これは保険給付費に係る基金への積み立て及び令和4年度及び5年度の保険料改定にあたり、保険料激変緩和のための基金の取り崩しによるものである。

(後期高齢者医療給付費準備基金)

(単位：千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
現 金	22,301,502	△2,997,033	19,304,469

第 8 意 見

(1) 確認した事実等

- ・大阪府内の後期高齢者医療制度の被保険者数は、令和 6 年 4 月現在、約 131 万人で、平成 20 年の制度施行時と比較して約 59 万人増加し、1.8 倍以上の伸びとなっている。
- ・保険料収納率は、収納対策の取組みの強化等を行ったことにより、令和 5 年度は 99.44% となり、前年度比で 0.03 ポイント上昇している。
- ・医療給付の返還金等について、約 4 億 2,600 万円の収入未済額が生じている。
- ・被保険者の健康を保持増進し医療費適正化を図るため、市町村と連携した高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施、健康診査、ジェネリック医薬品利用促進等の事業を実施している。
- ・健康診査の令和 5 年度受診率は 23.87% で、前年度比で 1.29 ポイント上昇している。
- ・同じく歯科健康診査の令和 5 年度受診率は 13.70% で、前年度比で 0.43 ポイント上昇している。

(2) 意 見

- ・今後も高齢化の進展に伴い被保険者数は増加すると見込まれることから、引き続き、事務処理の効率的な執行に努めるとともに、国、府及び市町村と連携し、制度の安定した運営に取り組まれない。
- ・広域連合においては、市町村の保険料収納対策の支援等により、さらなる保険料収入の確保に努められたい。
- ・未収金については、公平性の確保を図るため、関係市町村と連携し、債権管理条例に基づいた債権管理の強化及び回収に努められたい。
- ・給付費の適正化に向け、医療機関からの請求に対する厳正な審査点検に努めるとともに、不正受給を行う医療機関への監査権限を有する大阪府及び近畿厚生局に対して、一層の監査体制の強化に努めるよう求められたい。
- ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施について、更に市町村と連携を図りながら取組みを推進されたい。
- ・健康診査及び歯科健康診査の受診率の向上を図るとともに、医療費適正化等の取組みを推進されたい。

一般・後期高齢者医療特別会計決算審査資料

別表第1	一般会計款別歳入歳出決算状況	1 2
別表第2	後期高齢者医療特別会計款別歳入歳出決算状況	1 4

【歳入（一般会計）】

	予算現額 (A)		調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	
		構成比		構成比			構成比
分担金及び負担金	205,658	92.1	205,658	89.7	100.0	205,658	89.6
国庫支出金	1,512	0.7	3,107	1.4	205.5	3,107	1.4
寄付金	1	0.0	5,000	2.2	500,000.0	5,000	2.2
繰越金	15,843	7.1	15,843	6.9	100.0	15,843	6.9
諸収入	121	0.1	37	0.0	30.6	37	0.0
	223,135	100.0	229,645	100.0	102.9	229,645	100.0

【歳出（一般会計）】

	予算現額 (A)		支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比		構成比	
議会費	1,670	0.7	1,428	0.7	85.5
総務費	216,425	97.1	193,353	99.2	89.3
予備費	5,000	2.2	0	—	0.0
諸支出金	40	0.0	40	0.1	100.0
	223,135	100.0	194,821	100.0	87.3

入 歳 出 決 算 状 況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)		未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
				構成比			
100.0	100.0	0	0	—	—	165,989	39,669
205.5	100.0	0	0	—	—	3,161	△ 54
500,000.0	100.0	0	0	—	—	0	5,000
100.0	100.0	0	0	—	—	24,247	△ 8,404
30.6	100.0	0	0	—	—	874	△ 837
102.9	100.0	0	0	—	—	194,271	35,374

不用額 (C)	構成比	不用額比率 (C/A)	前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
23,072	81.5	10.7	176,704	16,649
5,000	17.7	100.0	0	0
0	0.0	0.0	308	△ 268
28,314	100.0	12.7	178,428	16,393

【歳入（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)		調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	
		構成比		構成比			構成比
市町村支出金	247,695,765	18.3	250,531,682	18.4	101.1	250,531,682	18.4
国庫支出金	421,143,717	31.0	431,006,527	31.7	102.3	431,006,527	31.7
府支出金	112,774,619	8.3	115,699,917	8.5	102.6	115,699,917	8.5
支払基金交付金	542,694,460	40.0	536,549,883	39.4	98.9	536,549,883	39.5
特別高額医療費 共同事業交付金	1,173,842	0.1	1,034,870	0.1	88.2	1,034,870	0.1
財産収入	6,000	0.0	4,560	0.0	76.0	4,560	0.0
寄附金	1	0.0	0	—	—	0	—
繰入金	15,256,946	1.1	9,500,000	0.7	62.3	9,500,000	0.7
繰越金	14,334,034	1.1	14,334,034	1.1	100.0	14,334,034	1.1
諸収入	1,643,388	0.1	1,667,910	0.1	101.5	1,201,995	0.1
	1,356,722,772	100.0	1,360,329,383	100.0	100.3	1,359,863,468	100.0

【歳出（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)		支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比		構成比	
総務費	4,847,653	0.4	3,609,634	0.3	74.5
保険給付費	1,331,285,147	98.1	1,309,220,126	98.3	98.3
特別高額医療費 共同事業拠出金	1,174,437	0.1	1,026,130	0.1	87.4
保健事業費	5,629,804	0.4	4,580,406	0.3	81.4
基金積立金	6,504,406	0.5	6,502,967	0.5	100.0
諸支出金	7,266,325	0.5	7,265,460	0.5	100.0
予備費	15,000	0.0	0	—	—
	1,356,722,772	100.0	1,332,204,723	100.0	98.2

款別歳入歳出決算状況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)	構成比	未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
101.1	100.0	0	0	—	—	237,055,723	13,475,959
102.3	100.0	0	0	—	—	402,806,210	28,200,317
102.6	100.0	0	0	—	—	103,975,502	11,724,415
98.9	100.0	0	0	—	—	504,948,259	31,601,624
88.2	100.0	0	0	—	—	893,920	140,950
76.0	100.0	0	0	—	—	5,006	△ 446
—	—	0	0	—	—	0	0
62.3	100.0	0	0	—	—	9,500,000	0
100.0	100.0	0	0	—	—	44,746,388	△ 30,412,354
73.1	72.1	40,262	425,653	100.0	25.5	1,247,436	△ 45,441
100.2	100.0	40,262	425,653	100.0	0.0	1,305,178,444	54,685,024

不用額 (C)	構成比	不用額比率 (C/A)	前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
1,238,019	5.0	25.5	3,401,164	208,470
22,065,021	90.0	1.7	1,237,866,506	71,353,620
148,307	0.6	12.6	816,413	209,717
1,049,398	4.3	18.6	4,024,627	555,779
1,439	—	—	12,695,588	△ 6,192,621
865	0.0	0.0	32,040,113	△ 24,774,653
15,000	0.1	100.0	0	0
24,518,049	100.0	1.8	1,290,844,411	41,360,312